

JICA 第三国研修（稲作技術）

閉講式の開催

平成 24 年 4 月 24 日に、マーザンダラン州アモール市の「ハラーズ普及技術開発センター」(Haraz Extension and Technology Development Center)において、第三国研修（稲作技術）にかかる閉講式が開催されました。第三国研修とは、日本とイランが連携し、第三国からイランに研修員を招聘し行う研修のことで、2009 年 5 月に発表した共同プレスリリース「アフガニスタン支援に関する日・イラン協力」に基づき、今回 15 名のアフガニスタン政府関係者をイランに招聘し、3 週間にわたって研修が行われました。日本はイランに対して 1984 年より日本の稲作技術の普及を行っており、また、イランとアフガニスタンの言語・文化はほぼ同一であることから、日本の稲作技術をイランを通じてアフガニスタンに普及する本研修は、日本で研修を行うよりは効率的であるといえます。なお、研修が行われたセンターは、1999 年から JICA によって実施された技術協力プロジェクトにより必要な機材が整備され、職員養成が行われたセンターになります。

閉講式には、在イラン日本国大使館より駒野欽一特命全権大使が、JICA イラン事務所より竹内康人所長が参加し、G. R. Rayatpanah 研修所所長と共に、研修生への修了書の授与等を行いました。



写真 1：閉講式会場



写真 2：スピーチを行う駒野大使



写真3：修了書授与



写真4：研修生及び関係者による記念撮影